

【令和3年度 南薩支部研修】

## 介護支援専門員の現状

～コロナ禍でどんな取り組みをしていますか～

令和3年10月30日（土）

前山 聡宏

感染症対策のため、当面の南薩支部研修は  
**オンライン研修**となります。ご理解をお願いします

会場での研修はどうしても密になるため、当面はオンライン研修に慣れるつもりで前向きに考えてください。



**ご理解ください！**

# ZOOM? WEB会議システムって??

## (音声・ビデオ通話)

・インターネットを使って、音声や画像を共有し、リアルタイム（双方向）でコミュニケーションが取れる仕組み。インターネットに接続されていれば、PC・スマホ・タブレットなど、デバイスを問わず、「いつでも、どこでも」使用することができる。

・ Skype    ・ LINE    ・ Google Meet  
・ Microsoft Teams 等

私たちは**ZOOM**を使用していきます（法定研修でも使用のため）

### 【ZOOMの主な特徴】

- ・ 連絡先やメールアドレス等の交換が不要
- ・ ZOOMミーティングID・パスコードで参加可能
- ・ 安定した動作環境（LAN環境を推奨）

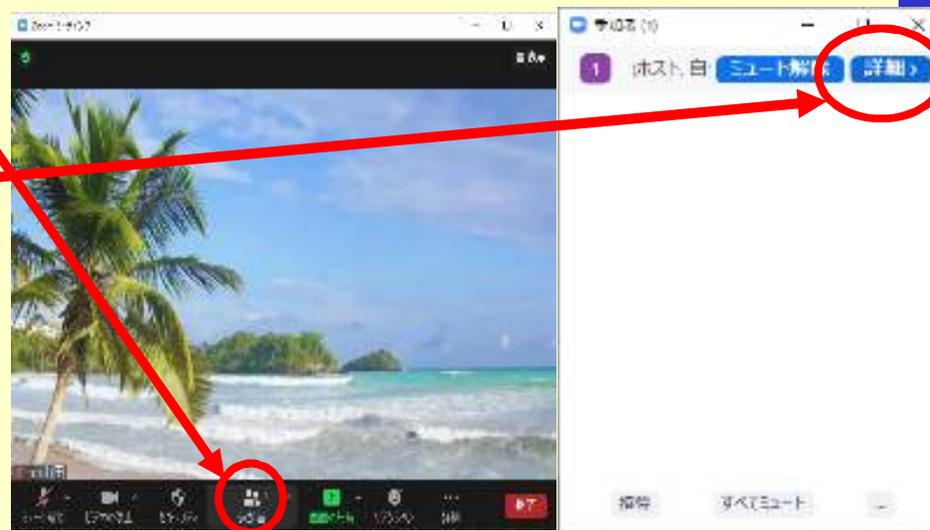
## ● zoom操作の参加上の注意事項

参加に際して、下記のことにご協力ください。

1 ご自身の名前を変更してください。

① 下部コントロールバーの“参加者”をクリックしてください。

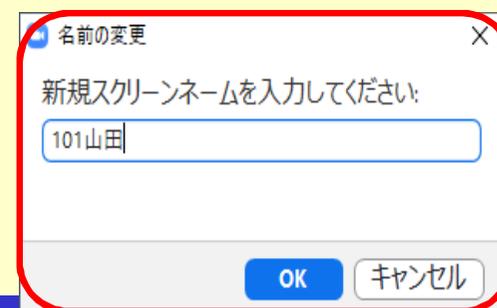
② 画面右上“参加者”から  
“ご本人の名前” → “詳細” →  
“名前の変更” をクリックしてください。



③ “新規スクリーンネームを入力してください”

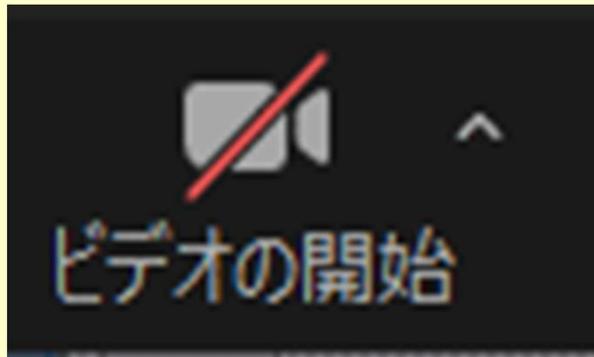
(例) 山田太郎 と入力し “OK” をクリックしてください。

※名前を入力してください。

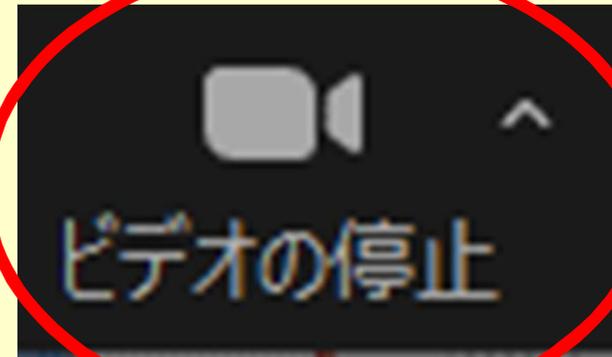
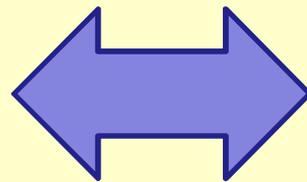


## ● zoom操作の注意事項

2 ご自身の映像（下部コントロールバー“ビデオ”）は、下記の状態にしてください。



映像がでていない



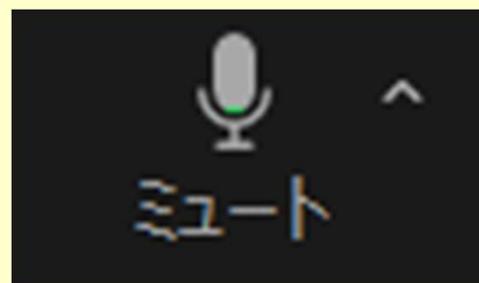
映像がでている

3 音声（下部コントロールバーの“**ミュート**”）は、  
下記の状態にしてください。

① 発言をしない場合



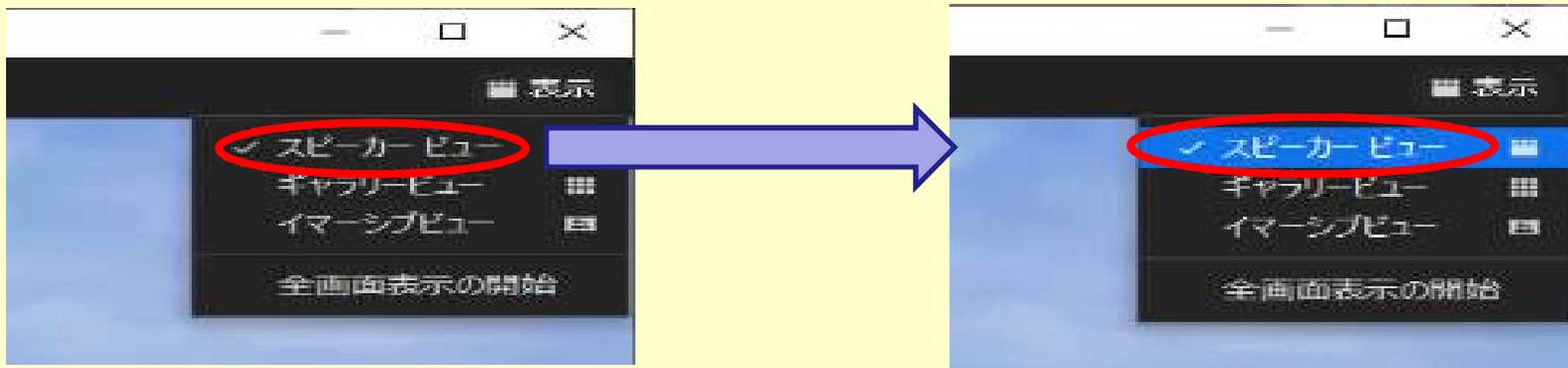
② 発言をする場合



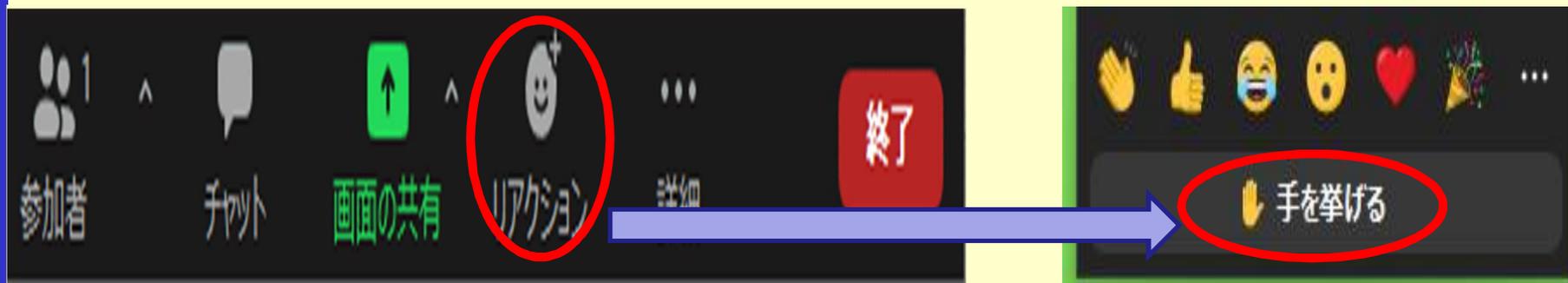
4 下部コントロールバーの “画面の共有” を操作しない  
てください。



- 5 画面右上部の“表示”は、“スピーカービュー”にしてください。



- 6 『質問』のある方は、画面下部の“リアクション”の“手を挙げる”をクリックしてください。



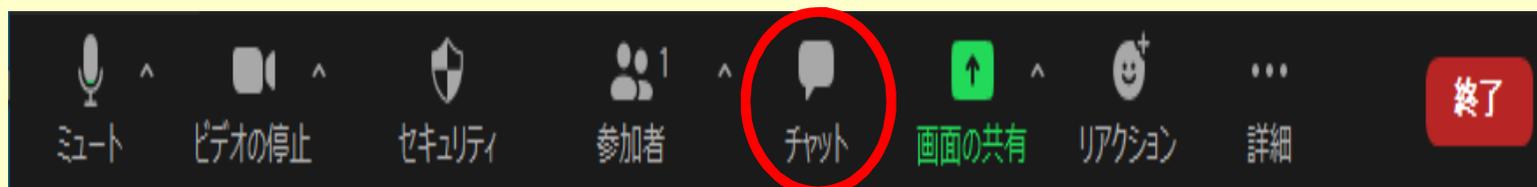
7 “チャット”での双方（事務局及び参加者）間の連絡  
連絡などにつきまして、“チャット”を活用しますので、  
都度の確認をお願いします。

(1)事務局からの“名前の変更”、“ミュート及びミュート解除”、  
“ビデオの停止及びビデオの開始”の依頼

(2)参加者からの問い合わせ

**(操作手順)**

①下部コントロールバーの“チャット”をクリックする。



②上記(2)の場合

ア “送信先”の選択

イ “メッセージ”を入力してください。



## チャット機能について

- パソコンの「ENTER」ボタンを押すと送信される。
- 宛先に「全員」を選択すると、参加者全員へ送信
- 送信したい人を個別に選択し、個人宛に送信することも可能

**\*チャットで送った内容は基本的に削除できません**

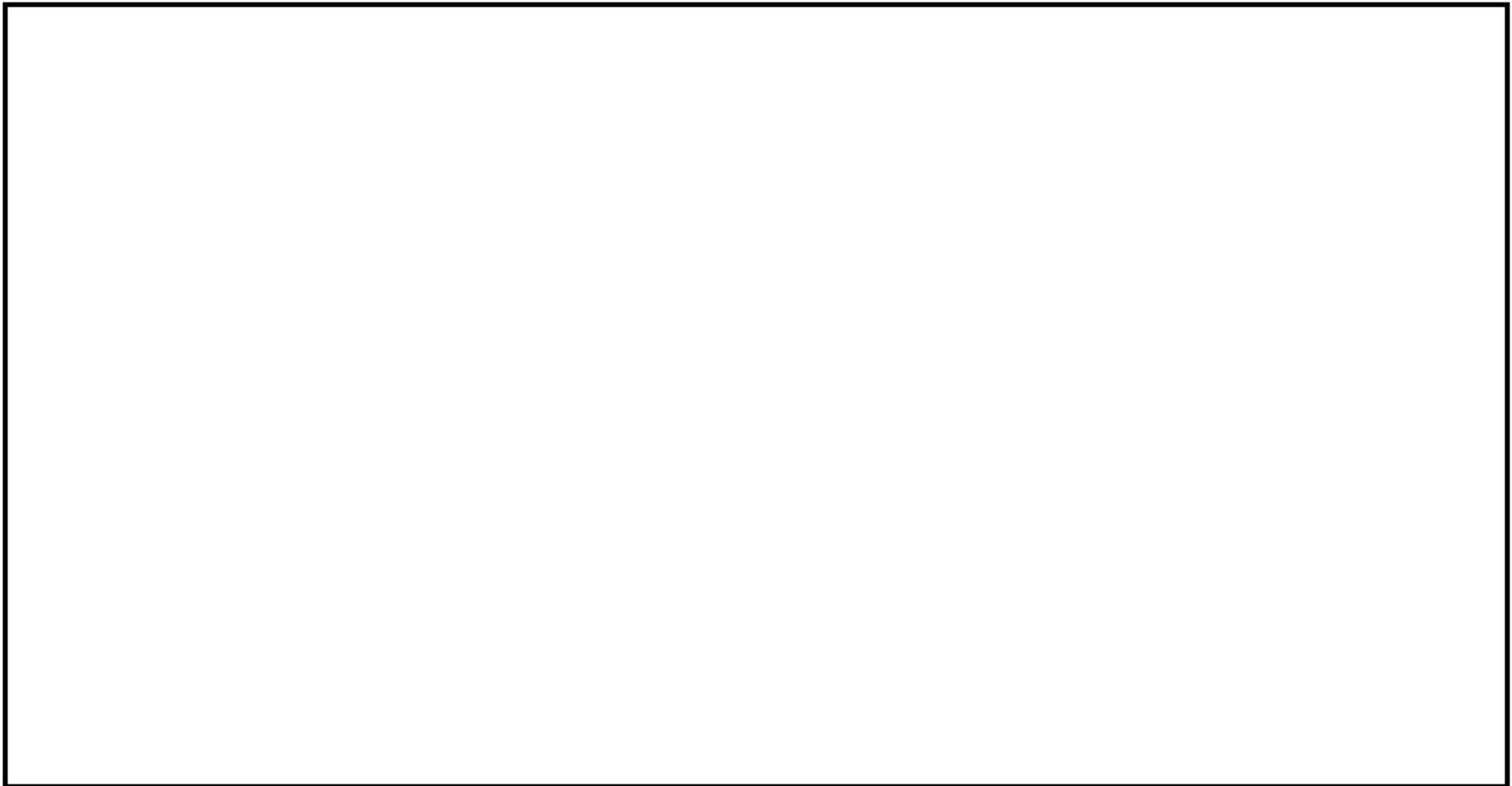
**\*全員と個人には注意**

**\*ファイルの送信も可能**

# 注意事項

1. 原則としてZOOMの音声は配信用パソコン以外はミュートにすること。またPC側の接続は原則USBが望ましい。
2. 可能な限り会場音響を優先して使用すること。  
スピーカーフォン+マイクではハウリングのリスクは0%ではない。
3. 研修中は配信用パソコンで他のアプリケーションの起動は極力行わずにPCの負荷を軽減する。セキュリティソフト等の必須アプリをのぞき、可能な限りZOOMのみの使用に留める。
4. Wi-Fiでの使用はタイムラグの発生を起こすので極力有線LANの使用を優先する。
5. カメラ操作はゆっくりと。急なアングル変更は参加者にとってはストレスになる。

**○コロナ禍で介護支援専門員業務  
にどんな影響がありましたか？**

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the user to write their response to the question above. The box is currently blank.

CMサポートを考えると地域包括支援センターの「包括的・継続的ケアマネジメント」での支援が主体ですが、他の事業所の主任CMや経験のあるCMのサポートも必要だと考えます

## 【主任の役割】

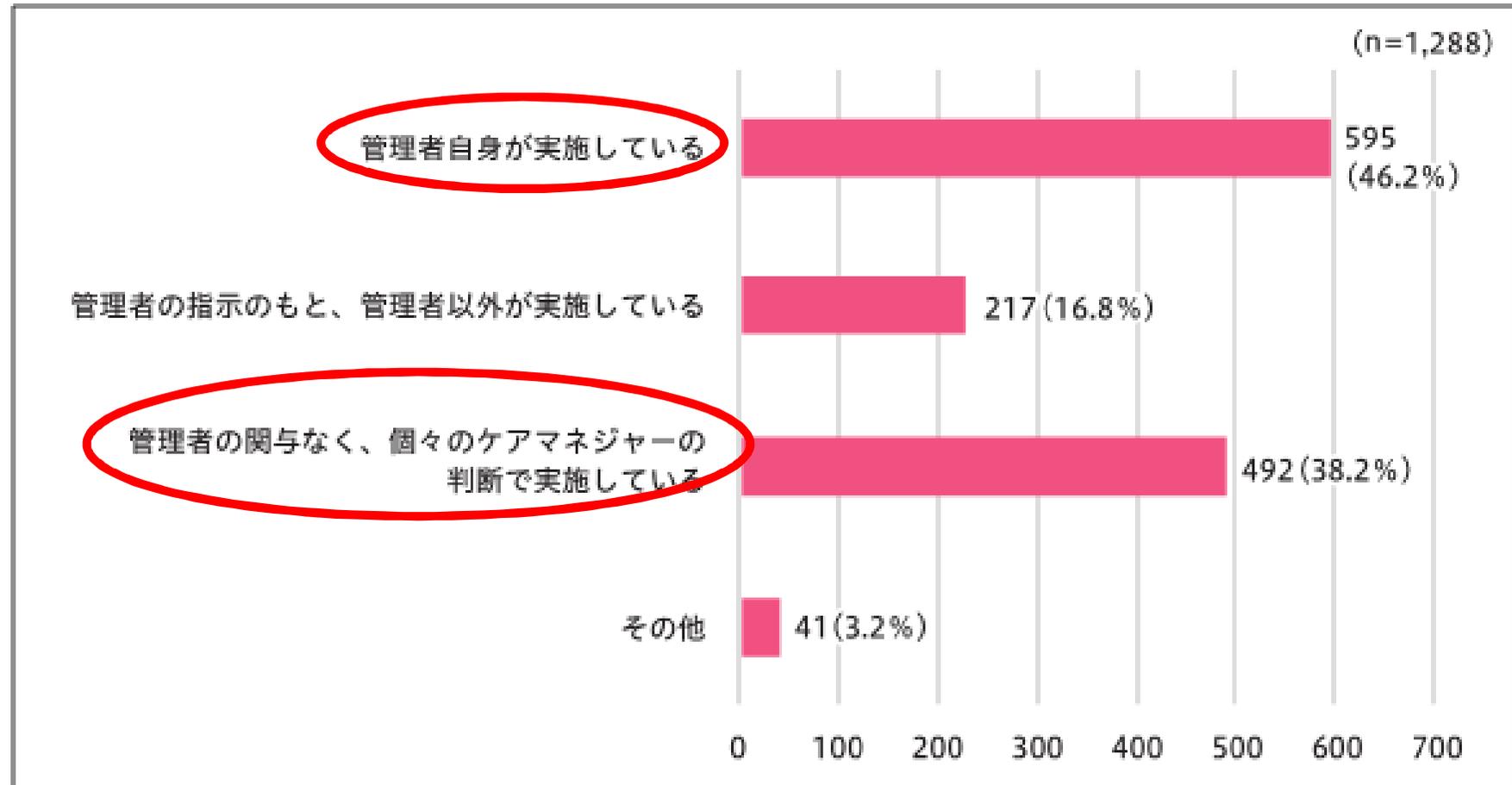
- ①他のCMへの適切な指導・助言
- ②事業所の人材育成・業務管理
- ③地域包括ケアシステム構築のための必要な情報収集・発信
- ④事業所・職種間の調整を行い、地域課題を把握
- ⑤地域に必要な社会資源の開発・ネットワークの構築
- ⑥CMが直面する問題や地域包括ケアシステム構築上の課題把握

## 【指導・助言のポイント】

- ①ケアマネジメントの対象となっている**利用者の自立支援を目指す**
- ②**ケアマネジメントプロセスの基本を踏まえる**
- ③個々のCMの**ケアマネジメント力のスキルアップ、育成をねらいとする**
- ④ケアプランチェック、**問題点の指摘に止まらないよう留意し、課題解決の糸口を見出す**

# 居宅介護支援事業所における業務の実態（1）

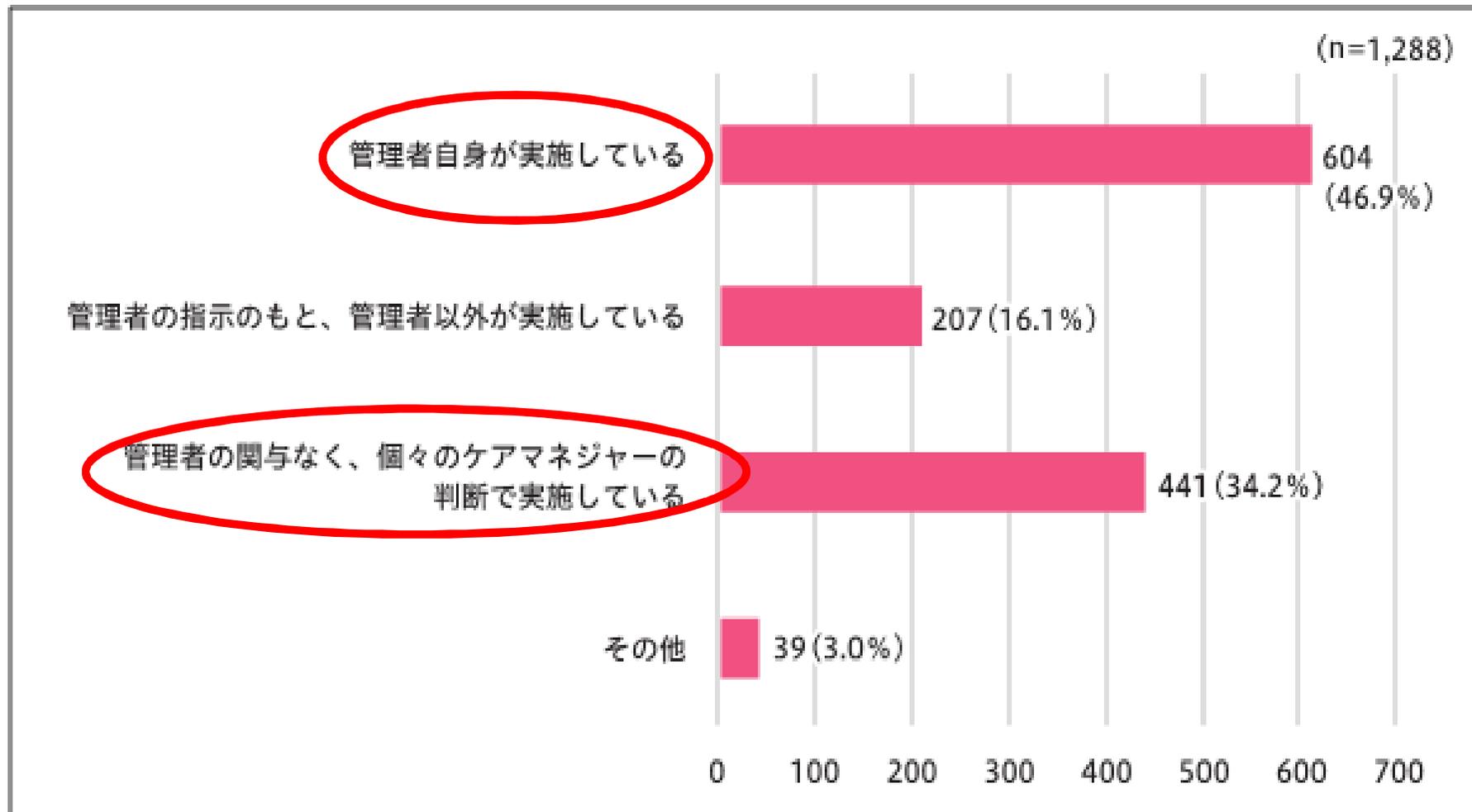
図1 新規利用者のケアプラン原案の内容確認者（居宅介護支援事業所）



出典：「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」〔(3)居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業報告書〕図表1-51より、居宅介護支援事業所について、「無回答」を除いて作成

## 居宅介護支援事業所における業務の実態（２）

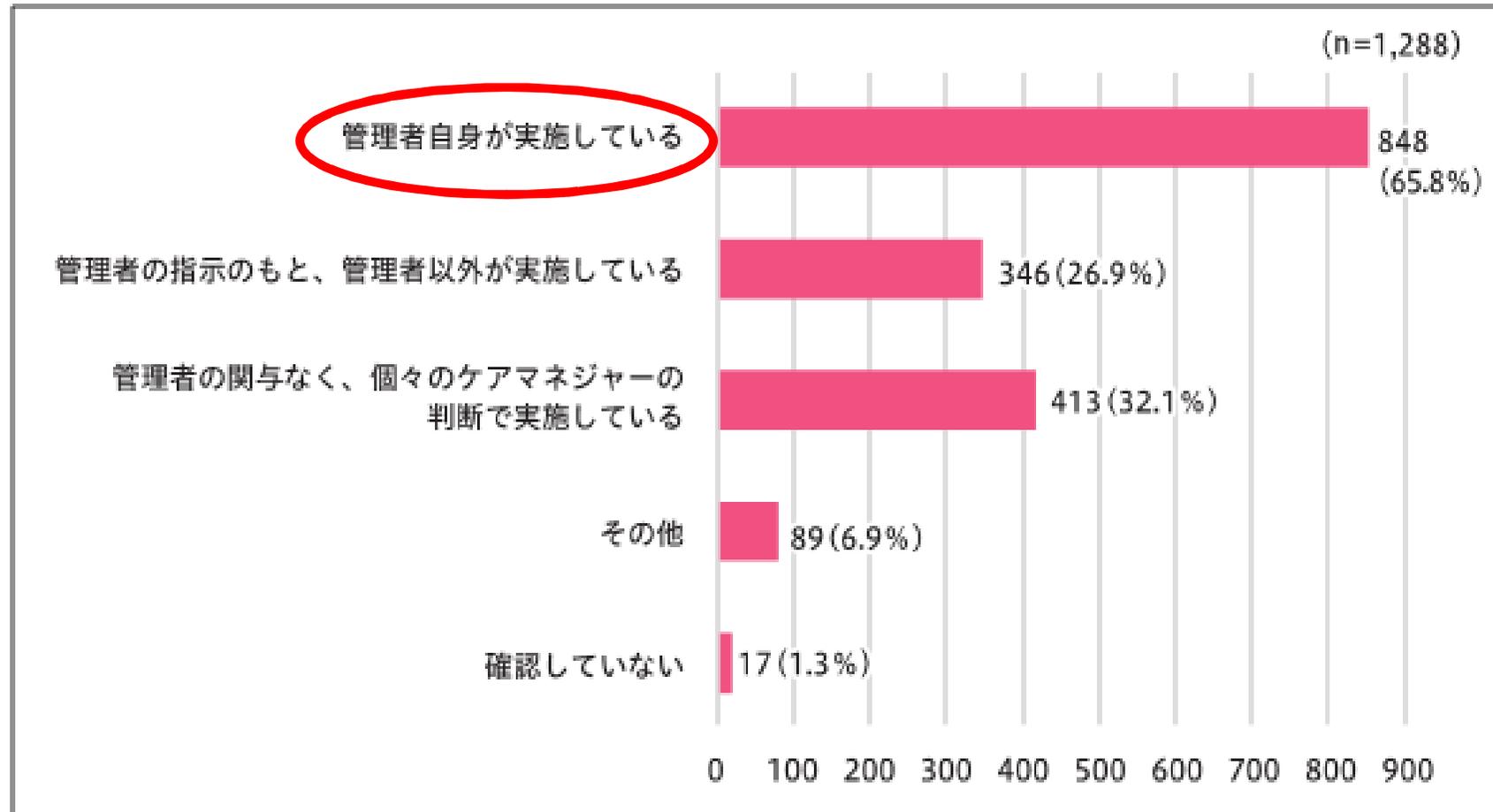
図 2 新規利用者のケアマネジメントの実施状況の進捗確認者（居宅介護支援事業所）



出典：「平成 30 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」〔3〕居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業報告書〕図表 1-54 より、居宅介護支援事業所について、「無回答」を除いて作成

## 居宅介護支援事業所における業務の実態（3）

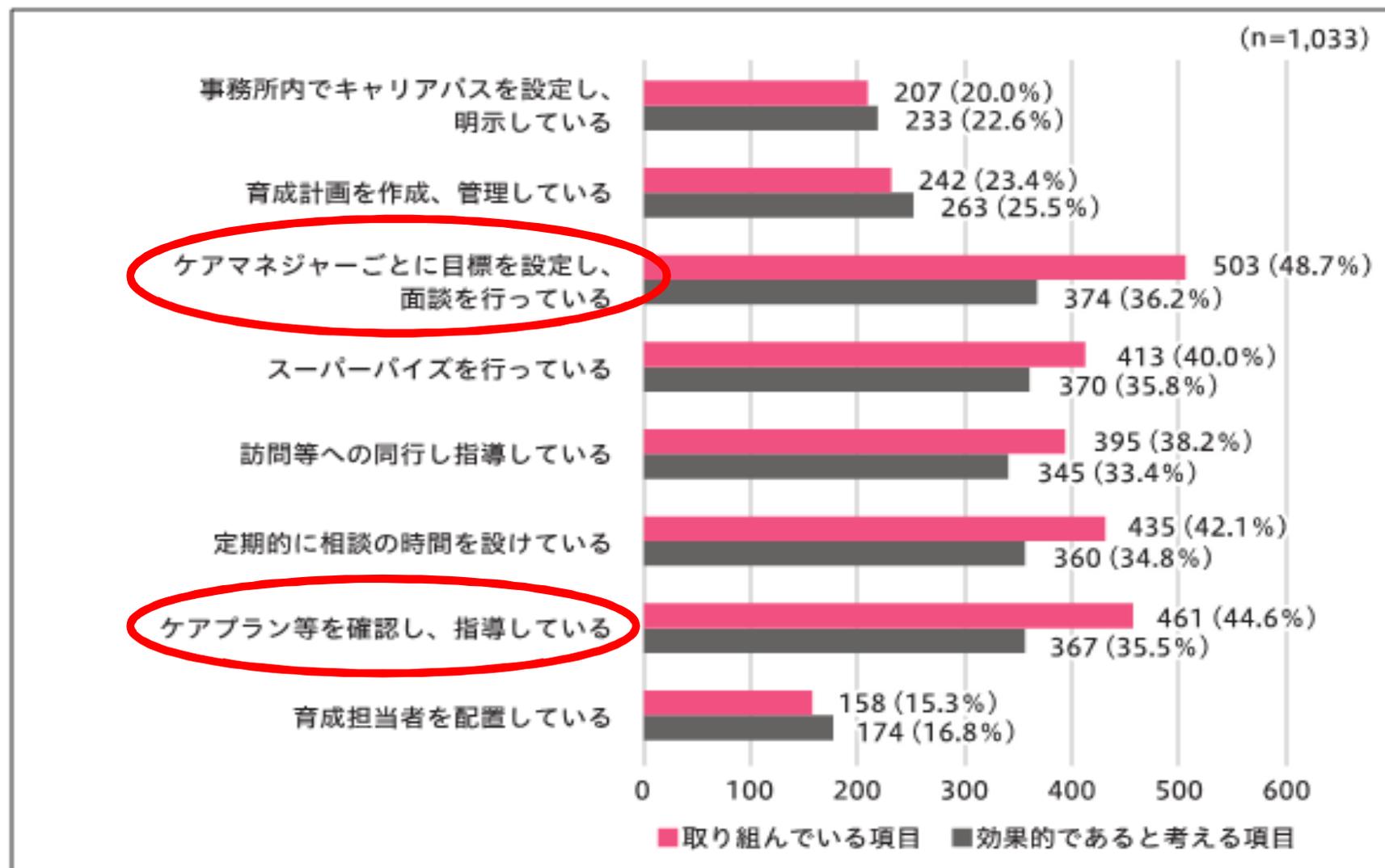
図3 事業所内の全ケースのケアマネジメントプロセスが運営基準に従っているか、実施状況確認者（居宅介護支援事業所）



出典：「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」〔3〕居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業報告書 図表 1-57 より、居宅介護支援事業所について、「無回答」を除いて作成

# 介護支援専門員の人材育成の現状と課題

図5 ケアマネジャーの育成・資質向上への取り組み（居宅介護支援事業所）



出典：「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査」〔(3)居宅介護支援事業所及び介護支援専門員の業務等の実態に関する調査研究事業報告書〕図表1-74より、選択肢の一部を抜粋して作成

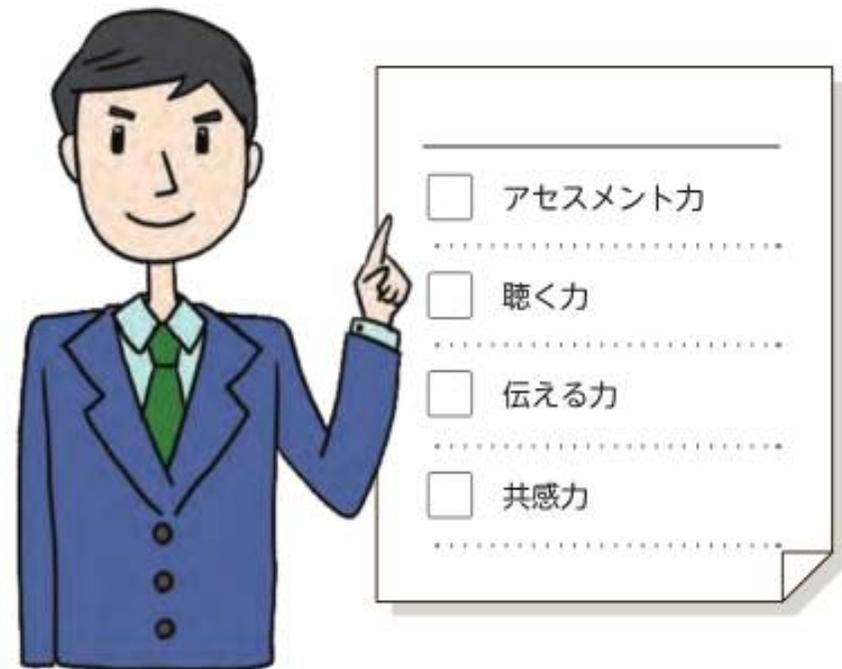
# OJTの機会

事業所内	朝礼・ミーティング	事業所の方針や現状を伝える。事業所外で行われた研修の内容を報告する
	面談	習得状況の確認、問題や不安の解決
	事例検討	多様な事例から知識、課題発見・解決力を習得
事業所外	サービス提供 (同行訪問)	準備、訪問時の一連の業務手順、利用者・家族との接し方・対応方法などを習得
	サービス担当者会議	他のサービス事業者との連携と役割分担を学ぶ

出典：「訪問看護 OJT マニュアル—新任訪問看護師の育成と定着のために」東京都、5頁、2013年を一部改変

## ○JT 担当者に求められる「力」

- ① スタッフの現状能力を評価するための「**アセスメント力**」
- ② スタッフの考えや現状を理解するための「**聴く力**」
- ③ スタッフが理解できるように説明する「**伝える力**」
- ④ スタッフの思いや悩みを理解する「**共感力**」

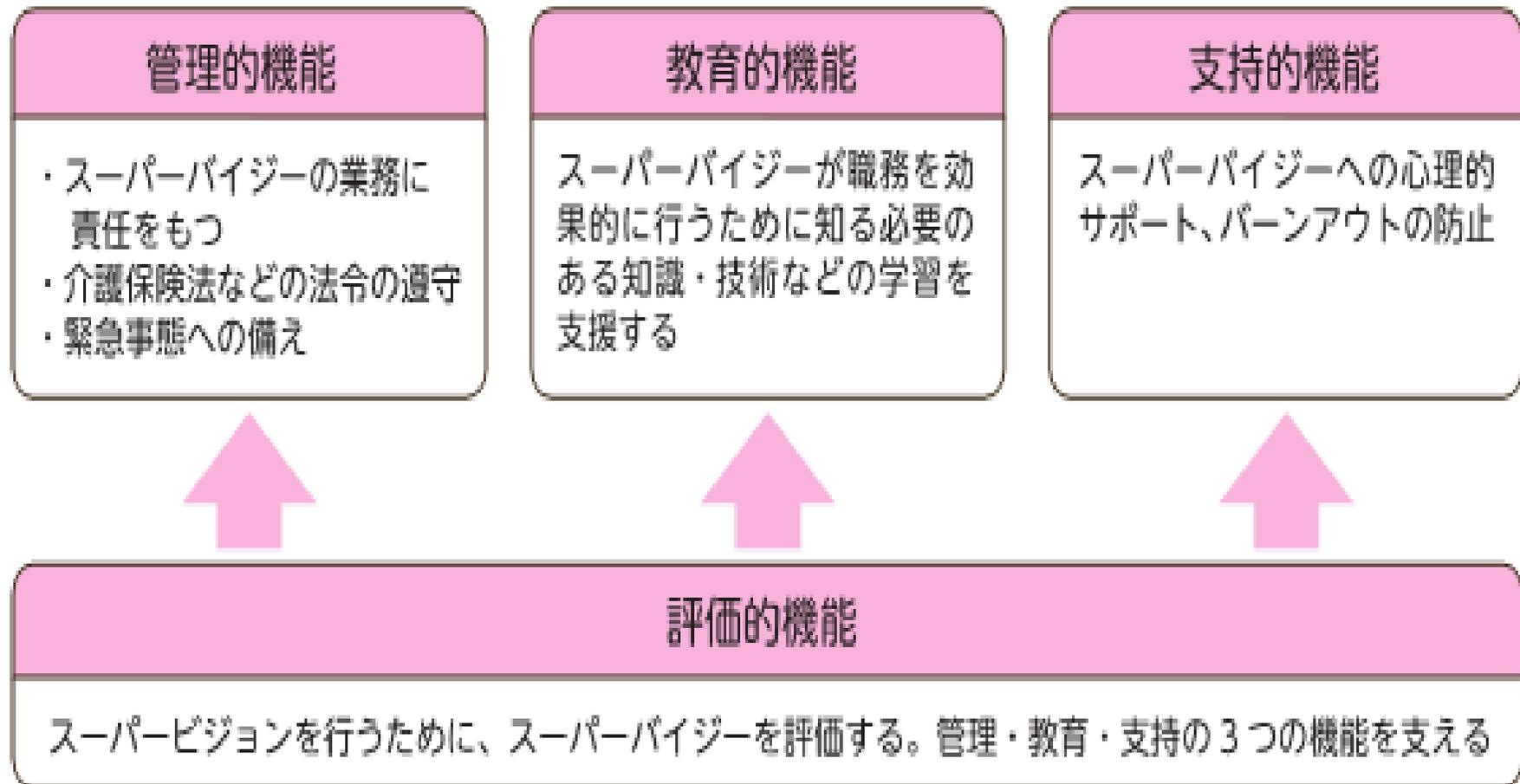


## **○ J T 担当者に求められる「役割」**

- ① スタッフの現在の能力と課題の把握**
- ② 育成計画の作成・立案**
- ③ 育成計画の実行**
- ④ 進捗状況の確認、再評価**

# OJTに関する援助方法

## 【①スーパービジョン機能】



## 【②ティーチングとコーチング】

ティーチング



「答え」を教える

管理者

答え

指示  
命令  
指導

スタッフ



コーチング



「答え」を引き出す

管理者

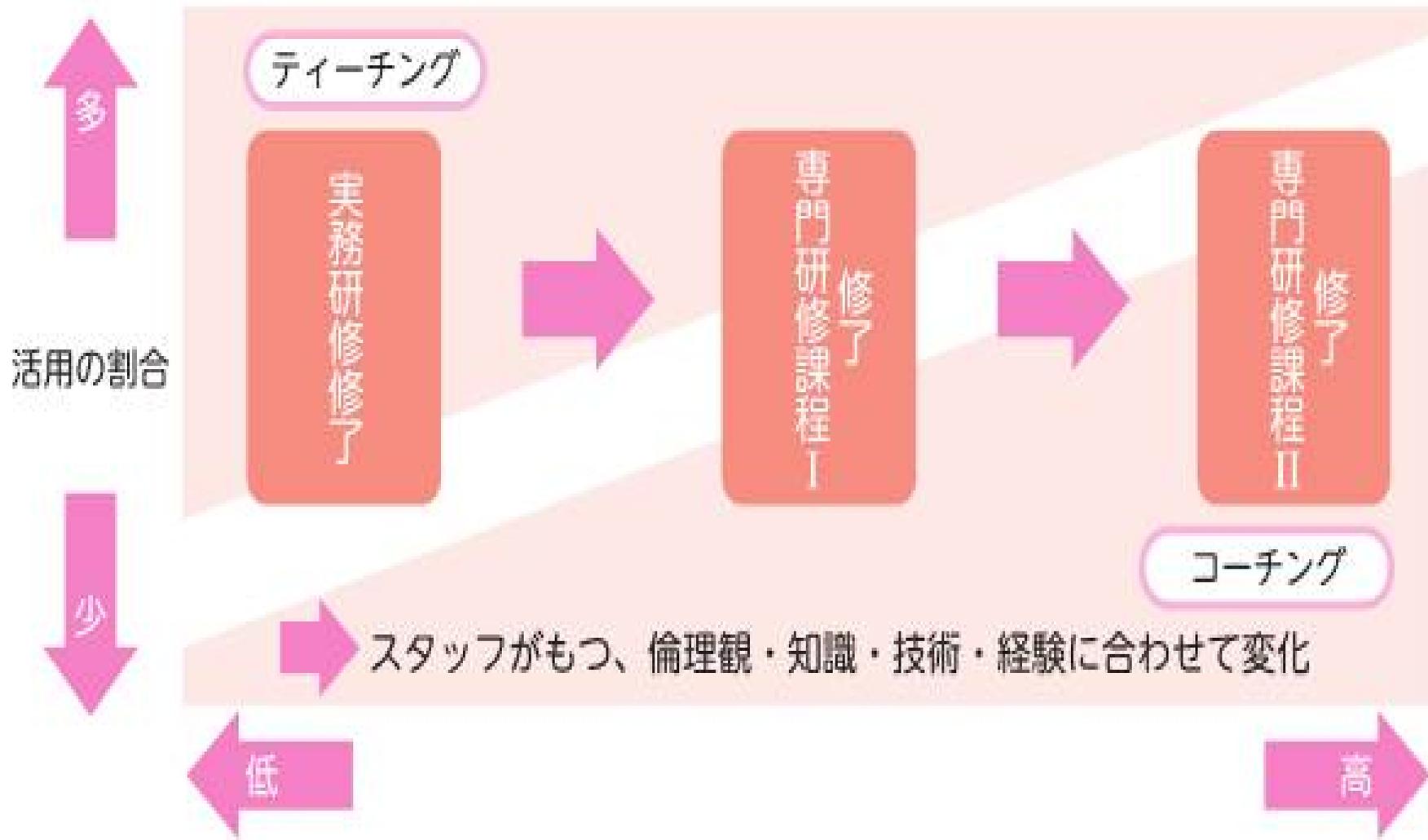
傾聴  
質問  
提案

スタッフ

答え



# 【ティーチングとコーチング手法の対象イメージ】



## **今後も事業所や地域で共に学んでいきましょう！**

**・ 学習に事例を取り入れることで、計画の立案や社会資源の活用を含めた利用者支援のためのスキルアップにつながります。また、対人援助職の成長・教育の手段として、有効な機会となります。**

**・ 事例を活用することは事例検討会もスーパービジョンも同じです。事例検討会は事例の見方や対応方法の検討が目的となり、事例そのものに焦点を当てます。一方、スーパービジョンはスーパーバイザーの成長に焦点を当てます。**

## 参考文献

- **一般社団法人日本介護支援専門員協会『居宅介護支援事業所におけるケアマネジメント機能向上に資するOJTの手引き』2020**